

JWAF journal

 日本勤労者山岳連盟

2024 8

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者／川嶋高志 発行年月／2024年8月



- 2025年版 JWAF カレンダーの写真を選出
- 能登半島地震復旧ボランティア募集(石川県連より)

「勇姿」

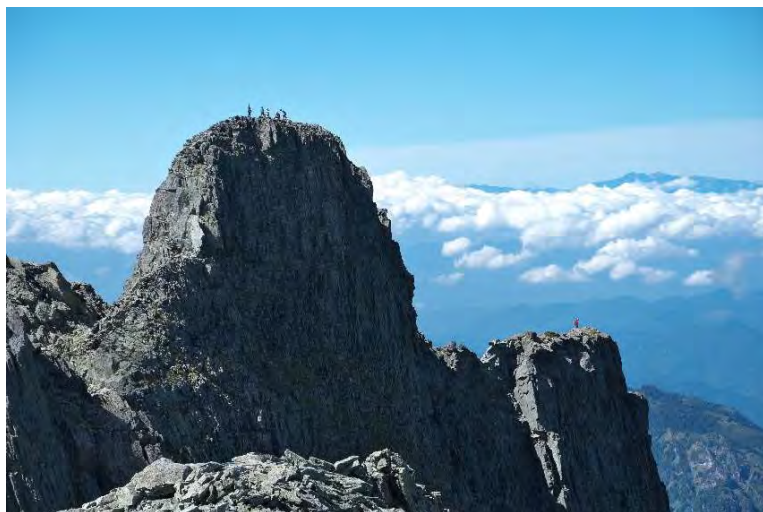
劔岳

劔岳を見るためにこの年3度目の立山へ。小雨の中を劔御前山で待つ事1時間、雲に覆われた劔岳が僅かに顔を出しはじめました。日が沈んだ後はまた厚い雲に覆われましたが、その間何度か憧れの勇姿を見ることができました。

(林昭宏・東三河山協会／愛知)

2025 年版 JWAF カレンダー

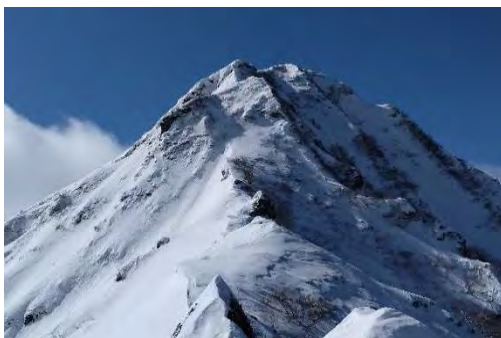
掲載写真が選出されました！



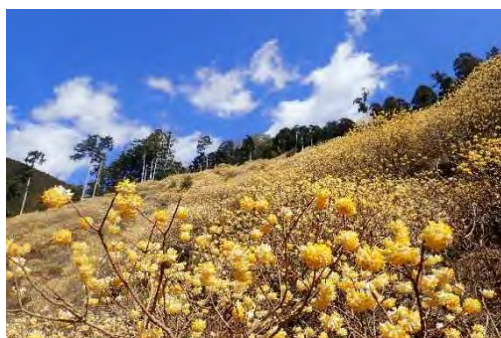
表紙



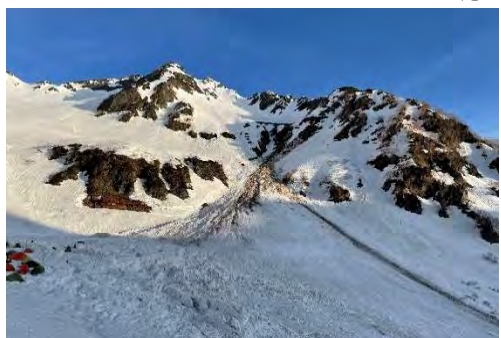
1月



2月



3月



4月

7月8日、全国連盟事務所にて、来年のJWAFカレンダーの写真選考が行われました。会員みなさんから思い思いの写真を自由に応募いただき、総数208点から、表紙を含めた13点が選出されました。

カレンダーの体裁は、2024年版と同様にB4サイズ・中綴じ28頁で、曜日の並びは会員から寄せられた意見を反映し、「日曜はじまり」に変更します。カレンダーには各地方連盟の連絡先を掲載しています。定価1,000円(税込)で、申し込みの詳細については10月頃にご案内します。

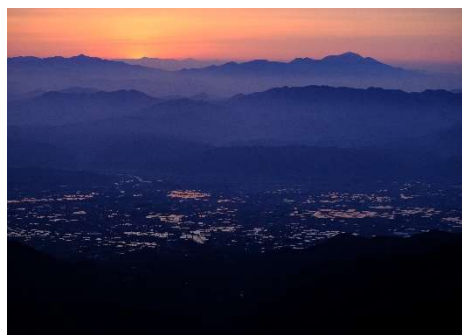
選考所感 小松由佳(ドキュメンタリーフォトグラファー)

今年も迫力あるたくさんの写真の応募をいただき、うっとりするような作品の数々でした。その中でも、視点の面白さ、捉えている光の美しさ、物語を感じるかという点から選考をさせていただきました。

表紙は、奥穂縦走路から臨むジャンダルム。作者の胸の高揚感が伝わってきます。

一月は、白馬三山をバックにした雪景色。抜けるような青い空と白い雪のコントラストが美しい一枚です。二月は、空に聳えるどっしりとした1839峰。存在感ある一枚です。三月は、春の到来の喜びを感じさせる一枚。黄金色に色づいた里山での、作者の驚きと興奮が伝わってきます。四月は、朝日に照らされた北穂高岳。残雪期の山の美しい朝を捉えています。五月は、蝶ヶ岳から見た安曇野。まさにこの瞬間、この場所でしか見ることのできない奇跡のような瞬間を捉えています。六月は、ミヤマキリシマの花咲く平治岳。鮮やかなピンク色に胸が躍ります。七月は、スッカン沢での沢登り。しっとりした沢の雰囲気ユニークな視点で捉えた、涼しさを感じる一枚です。八月は、白山の夏。咲き乱れる花々と山の緑に夏らしさを感じます。九月は、宝永山。独特の自然景観を色彩豊かに捉えています。十月は、秋田駒ヶ岳から臨む岩手山。「紅き大海に浮かぶ岩手山」というタイトルにもうっとり。息を呑む一枚です。十一月は、剣山。クマザサ帯に差し込んだ美しい光を捉えています。十二月は、北八ヶ岳。雪の乗った木々や山肌に、冬山の空気感が伝わってきます。

いずれも、山の個性と、作者の独自の視点とが伝わってくる素晴らしい写真でした今年もたくさんの応募をいただき、どうもありがとうございました。



5月



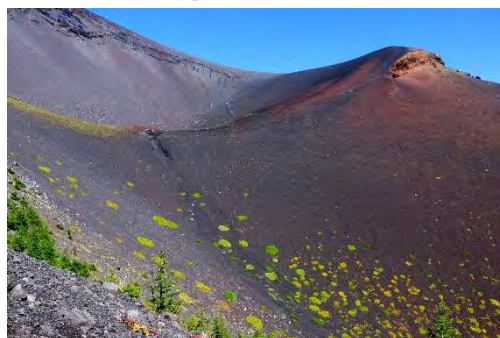
6月



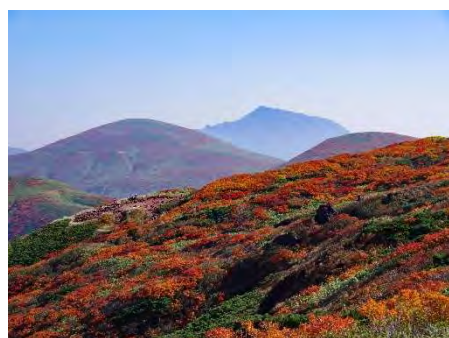
7月



8月



9月



10月



11月



12月

	作品名	山名	撮影者	所属会
表紙	憧れの岩稜	ジャンダルム	北村浩嗣	長泉麗峰山の会/静岡
1月	雪雲の抜ける白馬三山	白馬岳・杓子岳 ・鍵ヶ岳	漆崎隆之	十日町おだまき山の会/新潟
2月	聳える 1839 峰	1839 峰	馬場晶悟	札幌中央勤労者山岳会/道央 帯広勤労者山岳会/道東
3月	黄金色の里山	東海自然歩道	福原みさよ	あさぎり山の会/静岡
4月	春の朝日を浴びる北穂高岳	北穂高岳	久保田純子	浜松勤労者山岳会/静岡
5月	安曇野の春	蝶ヶ岳より	岩田信一	茅野労山しらびそ山の会/長野
6月	天空の絶景	平治岳	三浦紀子	大分勤労者山岳会/大分
7月	真夏の楽しみ	栃木県スッカン沢	岡孝雄	プリムラ山の会/東京
8月	「加賀白山」夏山讃歌	白山室堂	宮本勇	山陽カルチャーマウンテンクラブ/岡山
9月	宝永山の秋	宝永山	橋本紀美子	太田ハイキングクラブ/群馬
10月	紅き大海に浮かぶ岩手山	秋田駒ヶ岳	黒須敦司	カモの会/神奈川
11月	道	剣山	林弘幸	須磨勤労者山岳会/兵庫
12月	雪に覆われた坪庭と北八ヶ岳の 南方を遠望する	北八ヶ岳	大友津代	みやぎトレッキングクラブ/宮城

作品名は未確定

▲ 事故報告

■ 遭難対策部 虫・動植物の事故は事前の準備を

6月30日までに届いた事故一報は、43件46名。今月の事故原因は、転倒が15名(無雪期が12名、登攀・沢登り・氷瀑が各1名)。転・滑落が11名(無雪期と登攀が各4名、沢登りが2名、積雪期が1名)。虫・動植物が13名(無雪期が10名、沢登りが2名、登攀が1名)。病気が2名(無雪期と海外)。落石が1名(登攀)。下山遅れが1名(積雪期)。その他が3名(無雪期が2名、登攀が1名)。登山形態は、無雪期が30名、積雪期が2名、登攀が2名、沢登りが5名、人工壁が2名、氷瀑が1名、海外登山が1名。下山中の事故は20件(内13件が転倒事故)。

5月下旬から6月に、虫・動植物による事故が13件発生した。毛虫等による皮膚炎5件。マダニによる咬傷3件、日本紅斑1件。チャドクガによる皮膚炎3件。ヒルによるアレルギー性皮膚炎1件。注意しても虫への対策は難しいが、マダニ・ヒル対応のスプレー

やマダニ取りグッズの持参、夏用スパッツや手袋の着用、首周り等の肌を露出しない事が必要だ。今回、蜂の被害は報告されていないが、これからの季節は蜂対策の用意も必要になる。さらに、関東から東北地方で出没している熊についても、登山者が少ない地域に入る時は、北海道同様に熊対策スプレー等の準備も考えてほしい。

登攀・沢登り・人工壁での転落・滑落事故も増加傾向にある。北海道・芦別岳での事故は、登攀者が岩の剥離で滑落し、その落石で下の確保者の頭に当たり頭部を裂傷した事例だが、当たり所によれば重大事故に繋がる。兵庫・六甲山では、下山中の登山道で枕木に足をひっかけた滑落者を救助しようとして転倒する、二重遭難が発生した。救助者の冷静な対応と慎重な行動が必要であった。

(遭難対策部長 石川昌)

6月4日から6月30日までに届いた事故一報

	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	6/2	広島	59	女	天応烏帽子岩山	登攀	転・滑落	マンメリークラックをリードで登攀中、クラックを抜けたところで滑落し、岩棚で右足踵について負傷した。	右踵・側面骨挫傷
2	6/1	道央	32	男	芦別岳	登攀	落石	リードクライマーが4P目を登攀中に50cmほどの岩塊が剥離して墜落し、下でビレイをしていた事故者の頭部にあたり、後頭部に裂傷を負った。	後頭部裂傷
3	6/1	道央	44	男	芦別岳	登攀	転・滑落	北西壁ダイレクトルート4P目を登攀中、リードクライマーが掴んだ50cm程の岩塊が剥離し、10m程墜落。墜落時に岩にぶつかってロープで停止した	左肋骨骨折
4	5/8	群馬	66	男	人工壁	人工壁	その他	人工壁のボルダリングでオーバーハングを登っていたところ、フットホールドが外れ、左手指だけでぶら下がる形となり、痛みが走った。	左第3・4指関節捻挫
5	5/22	広島	68	男	燧ヶ岳	積雪期	転・滑落	下山中残雪上で滑落し左膝上挫傷する。	左膝上挫傷
6	6/1	岡山	62	女	金刀比羅山	無雪期	虫動植物	昼食時には草の上にシートを敷き座った。帰宅後すぐには気づかず、2日後に左大腿部のう後ろ側が膨らんでおり、マダニに気づいた。	マダニ刺咬傷
7	5/18	道央	53	女	ベツツルンペン山	無雪期	転倒	下山開始から4時間。林道合流まであと僅かではあったが藪を回避して沢の方へと下りていったところ、足元が滑り転倒。	仙骨骨折
8	5/25	埼玉	66	女	鹿俣山	無雪期	転倒	下山中、細い急な登山道で浮石に乗ってしまい、右足首を捻る。捻挫だと思い湿布をしてテーピングテープで固定し、両ストックで下山し帰宅。	右足関節外果骨折
9	5/26	兵庫	50	女	六甲山	無雪期	転・滑落	夏山登山教室実技で、六甲最高峰から下山中に、滑落事故と救助活動における事故が発生した。滑落した事故者を助けるために、傾斜を下ったが転倒し、左手首を骨折した。	左橈骨遠位端骨折
10	5/26	兵庫	58	女	六甲山	無雪期	転・滑落	夏山登山教室実技で、六甲最高峰から下山中に、登山道の枕木に足をひっかけて、バランスを崩し、右の傾斜側に10m程、数回回転しながら滑落した。	左殿部打撲症
11	4/7	愛知	48	女	横岳・硫黄岳	積雪期	その他	恐怖心から足が出なくなったため下山遅れ。	怪我無し
12	5/19	石川	43	男	法恩寺山	無雪期	虫動植物	平泉寺から法恩寺山までトレランを行った。山行中に違和感はなく、大雑把に目視した範囲では異常はなかった。数日後、よく見たところ、ダニであることに気づいた。	マダニ刺咬傷
13	5/25	千葉	71	男	磯根浜	訓練	その他	クリーンハイク中に気分が悪くなり手足のしびれ、吐き気を催してきたため、同行者に病院まで搬送してもらい受診。	軽度の熱中症
14	6/9	道央	63	女	富良野岳	無雪期	転倒	渡渉中に石で足を滑らせ水中に転倒。右腕について痛みを感じたため、三角巾で吊り他メンバーの補助を受けながら下山。	右手首骨折
15	6/9	福井	64	男	白山	無雪期	転倒	下山で濡れた石で滑った足の上に腰が載り、下に向かって動いていた体重と荷物の衝撃で足首が折れた。	足首骨折
16	1/27	埼玉	60	男	三つ峠	氷瀑	転倒	凍った林道を下山中、足を滑らし転び、足をひねって痛めた。	膝の打撲
17	6/5	鹿児島	69	女	日光男体山	無雪期	転倒	八合目付近岩場の下りで、足を滑らせて転倒し、左脇腹と左手小指を岩にぶつけた。	左第8肋骨骨折他
18	6/2	東京	82	女	赤湯温泉	無雪期	体勢	赤湯林道は所々ぬかるみがあり、越えるときに泥の中にある石を踏み、左足首を捻る。	左足首捻挫
19	6/10	東京	62	女	開聞岳	無雪期	転倒	登山道の岩場を通過中、濡れた一枚岩上で転倒した。その際、右手首を強打し、橈骨を骨折した。	右橈骨遠位端骨折
20	5/24	広島	75	男	縄文杉	無雪期	転倒	縄文杉から下山中、雨でトロッコ道の木道が濡れていたためスリップして転倒。トロッコ道脇の石で側頭部を打ち裂傷。	側頭部裂傷
21	6/2	兵庫	67	男	六甲山	無雪期	転・滑落	ロックガーデン中央稜を下山中、急こう配の岩稜を下りていて足を滑らせ2mほど滑落。	腰椎横突起の骨折

	事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
22	6/9	愛知	67	女	宇連山	訓練	転倒	傾斜の緩い下りで石の上を歩いた時、滑って尻もち。左手をつき体重を支えた。左手首に多少痛みはあったがそのまま下山。	左手橈骨骨折
23	6/9	道央	72	男	大千軒岳	無雪期	転倒	大千軒岳10:30頃から下山中、千軒平を通過した後、更に進みトラバース中に、右側の1m 程凹んだ沢へ転落した。休みながら自力下山。	左膝内側半月板断裂
24	6/15	島根	68	女	宝珠山	無雪期	転倒	宝珠山を通過して終点の中原スキー場へ到着した。広いスキー場に出たので、それまでの一列隊がバラバラに広がり、下山中に事故者が滑って転倒した。	右足くるぶし骨折
25	5/19	香川	46	女	経ヶ森	無雪期	体勢	交流ハイキングで勝岡丘陵・経ヶ森から西山→白石の鼻まで縦走中、車道100m手前の縦走路で、草に隠れた穴に足が入り捻挫した。	足首捻挫
26	6/3	大阪	67	男	人工壁	人工壁	転・滑落	オートビレイ機のロープを付け忘れて登り始め、テンションをかけたところ3～4m墜落しグラウンドフォールした。	大腿骨骨幹部骨折
27	6/7	神奈川	74	男	小川山・天狗山	登攀	転・滑落	1P目を登攀中、7m位登ったところで浮石に乗り、足場が崩壊して墜落。上から1本目のカムは墜落の衝撃で外れた。2本目で止まったが、ロープの伸びしろ分1.5m程落ちてグラウンドフォール。下山して病院に行った。	肋骨2本骨折、軽度の肺挫傷
28	6/16	東京	67	女	乾徳山	無雪期	転倒	扁平から道満尾根を下り車道出合から50位位先に進んだ少し急な登山道で滑り転倒、その際左足首が不自然な向きになると同時に、足首が急に腫れだし、すぐに救助要請をした。車道出合に救急車が到着、病院に搬送された。	左足関節果部骨折
29	6/1	東京	40	女	熊倉山	沢登り	転倒	高度は490m地点右岸から左岸へ川を渡る木橋手前あたりで、先頭を歩く事故者の足に松の木の枝が絡まり転倒し怪我。道は平坦で通常の山道に近く、休憩し荷物を仲間が持ち、駐車スペースまで自分で歩いて戻った。	左足関節骨折
30	6/9	道央	68	女	洞爺湖畔一周コース	無雪期	転・滑落	何かに滑って転んでそのまま滑落した。推定斜度40度～50度を4～5m ほどを、地面に横たわった状態でゴロゴロ回転していき、湖面際の大きな岩にぶつかり、うつ伏せの状態で止まった。	右額裂傷4針縫合、左母指骨折
31	6/15	東京	62	女	日和田山	訓練	虫動植物	帰宅翌日の入浴時、脹脛側面にマダニらしきものが付着しているのに気づく。翌日皮膚科・外科に通院。外科にて切除の処置を受ける。その後重篤な症状は見られない。切除部分の消毒と抜糸処置のため数日通院を要す。	マダニ咬傷
32	6/20	東京	73	女	万太郎山	無雪期	虫動植物	登山道で大量の吸血性の虫が発生しており、山行開始から終了まで複数回に渡り、額や耳や左腕等を20力所以上刺され、翌日に赤みや腫れの炎症が現れて、両方のまぶたがふくらみ、痒みも出始めた。	刺虫症（虫さされ）
33	6/3	道央	26	男	デナリ	海外登山	凍傷	夜間登攀中に低体温症を発症し、気温が上がるまで待機した。その後悪天の中ルートに登りきり下山した。下山後に足に違和感があり、凍傷を負っていた。帰国後に2度の凍傷と診断された。	凍傷
34	6/16	兵庫	74	女	六甲山	無雪期	虫動植物	六甲山ハイキングで4コースの分散登山。事故者は②コース、下山時肌にかゆみを感じる。下山後喉部から胸部にかけ発疹。	虫刺され（毛虫）
35	6/16	兵庫	70	女	六甲山	無雪期	虫動植物	六甲山ハイキングにて4コースの分散登山。事故者は③コース、六甲山縦走路でかゆみ等症状があり衣類を交換。下山後かぶれが右腕及び右側胸部に現れ翌日受診。毛虫によるかぶれ。	虫刺され（毛虫）
36	6/16	奈良	40	女	唐谷川	沢登り	虫動植物	下山時右足首をヒルにまれていた。	アレルギー性皮膚炎
37	6/22	東京	34	男	谷川連峰	沢登り	転・滑落	マチホド沢の大滝の2段目の滝の高巻きにおいて、フリーで登攀中、足を滑らせて5m滑落。滑落者は自力で登りパーティと合流。合流後、同行者と同じくマチホド沢に入渓していた同会の他パーティの補助を受け自力下山。	右上肩部挫創、右大腿部打撲、全身擦過創
38	6/22	東京	59	女	丹沢山	沢登り	転・滑落	6mの滝の左側を登攀時に、手足が滑って落下。落下時に岩壁に顔面の唇の下、右脇腹の肋骨部分、左右の足の膝と太腿部分を強打した。	切り傷と肋骨骨折
39	6/2	大阪	76	女	飯盛山	無雪期	虫動植物	清掃登山の山行中、マダニに刺されたもよう。6/8に発熱、6/11入院、6/28週に退院予定。	マダニによる日本紅斑
40	6/16	和歌山	60	女	金剛山	無雪期	虫動植物	昼食時に、おでこ・左目じり・右耳の三カ所を虫に刺された。帰宅後、大きく腫れたため皮膚科を受診。	虫刺されによる腫れ、炎症
41	6/12	兵庫	74	女	摩耶山	無雪期	虫動植物	シェール道分岐で昼食後、穂高湖のカフェに入った時、首から腕にかけて湿疹が広がっていることに気が付く。家に帰ると全身に広がっていた。服を脱ぐと虫が2匹出てきた。翌日その虫をもって皮膚科を受診。	チャドクガによる皮膚炎
42	6/12	兵庫	61	女	摩耶山	積雪期	虫動植物	シェール道分岐で昼食後、穂高湖のカフェに入って腕の湿疹に気づく。その時はあまり気にしない程度だったが、家に帰ってからだんだんひどくなって、皮膚科を受診。	チャドクガによる皮膚炎
43	6/16	東京	61	女	天神山	無雪期	虫・動植物	天神山山頂より高畑山に向かい、少し下った辺りでお花摘みにいき、肌を露出した際にマダニに右内ももを噛まれる。直後は気が付かなかったが、帰宅後入浴の際に発見。マダニの体が残っていたため、除去してもらう。	マダニ咬傷
44	6/22	兵庫	49	男	シシガ谷	沢登り	虫動植物	沢登り教室において、涼峠付近で懸垂下降の練習中にチャドクガに左手を刺された。	毛虫皮膚炎
45	6/23	福島	59	男	飯富山	無雪期	その他	下山中御前坂付近において右足膝の状態に異常を感じ、そのまま回復することなく下山完了するまで痛みと正常な歩行ができない状態だった。	膝じん帯損傷
46	6/29	京都	60	女	金比羅山	登攀	転倒	金比羅山Y懸尾根で、夏に北鎌尾根に行くメンバーで岩稜歩荷トレーニング。Y懸尾根3往復する予定で1往復して2往復目頭まで登り昼食を取り、下る時、少し下った所で事故者が転倒した。	左足首靱帯損傷

事故一報の受領順で掲載

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計	形態	無雪期	積雪期	人工壁	海外	登攀	氷瀑	沢登り		合計
男性	1	2	3	1	6	4	0	0	17	男性	7	1	2	1	3	1	2		17
女性	0	0	4	5	14	5	1	0	29	女性	22	2	0	0	2	0	3		29
合計	1	2	7	6	20	9	1	0	46	合計	29	3	2	1	5	1	5		46

原因	転倒	転滑落	体勢	落石/氷	虫・動植物	凍傷	下山遅れ	その他	合計	傷病	骨折	裂傷	咬傷	皮膚炎	病気	打撲	損傷	その他	合計
男性	4	6	0	1	2	1	0	3	17	男性	4	2	1	1	1	2	1	5	17
女性	10	5	2	0	11	0	1	0	29	女性	11	0	3	7	1	1	2	4	29
合計	14	11	2	1	13	1	1	3	46	合計	15	2	4	8	2	3	3	9	46

その他:断裂2,捻挫2、挫傷2、肺挫傷1、凍傷1、怪我なし1

部・局・専門委員会の活動

■ 組織部

「平和と登山」全国集会 おわる

NO PEACE NO CLIMBING——6月 29～30 日開催。このタイトルは部員が考えたオリジナルで、初めて使用された文字だ。集会参加者はのべ 108 名。北海道から沖縄まで 20 の地方連盟が参加した。会場は満席。浦添会長の基調報告、婦団連会長の来賓挨拶、野口邦和氏の講演、地方連盟からの 10 本のレポート、討議、ピースソング、ピースアクションまで盛りだくさんの内容であったが、その全てを実施することができた。新企画のピースソングだが、1 日目最後に会場と ZOOM 参加者が一体となり歌った。「青い空は青いままで子どもたちに伝えたい…」の歌詞が胸に響く歌声になった。2日目のピースアクションは飯田橋駅西口で行った。それだけのために遠く和歌山から早朝駆け付けた方もいた。やがて「神楽坂通りを毘沙門天まで歩こうよ」との声が上がり、看板や「平和と登山」ののぼり旗を掲げ愉しくパレードをした。プラカードを持った 20 名以上のパレードは人目を惹き宣伝効果抜群だった。参加者から寄せられたアンケートはどれも高評価の言葉で溢れていた。7月の部会では集会のまとめ集を作成することとし、集会の成功を積極的に応援してくれた地方連盟をはじめ、全ての地方連盟に届けたいと考えている。多くの参加者を送り出してくれた各地方連盟の協力で深く感謝する。 (組織部長 久保典子)

■ 海外委員会

海外山行交流集会に向けての調査用紙送付のお知らせを配信

海外山行交流集会に向けての報告書作成及び報告者選定のために、事前に調査用紙送付のお知らせ文書を川嶋理事長、武笠海外委員長連名でメール配信する文章の最終確認をし、11 日に地方連盟宛へ配信された。調査用紙は計画書が提出されている海外山行すべてに送付するものではなく、2023 年度分については海外委員会で選別済みだ。2024 年度については 5 月出発分までを対象としてこれから選別作業に入る。調査用紙送付は 7 月の最終週を目途とし、返信は 9 月第 1 週を目途としてお願いする。調査用紙が送付された方々の御協力、宜しくお願いします。 (海外委員会 清野嘉樹)

■ 労山基金運営委員会

労山基金交付申請の期限

最近期限を過ぎて申請をしにくる人を見受ける。「規定 13 条基金の交付を受けようとするときは、書面を委員会に提出して申請するものとする。ただし事故発生日より 30 日以内に事故報告のあったものに限る。」とあり、必ず 30 日以内に事故一報を提出しなければならない。さらに 22 条に交付申請の期限、「交付を受けようとするものは事故発生日より一年以内に申請をしなければならない。ただし特別の事由がありかつ期間内に連絡のあった場合はこの限りではない。」とあり、通常は一年以内に申請する必要がある。

(労山基金運営委員会委員長 臼井邦徳)

JWAF フェス in みずがき に向けて アンケートのご協力をお願いします

登山者と山、登山者と山岳会(山岳団体)の関わりの現状を把握し、今後のあり方、特に若年層と山、山岳会のあり方について考えるための基礎データの収集を目的としています。多くのご協力をお願いいたします。(所用時間 5 分程度)



催しのご案内 詳細は労山 HP をご覧ください

■ JWAF フェス in みずがき

9月7日(土)～8日(日)

- ◆ 会場: 瑞牆山荘
- ◆ 1 日目講演・北平友哉氏
「山と私～百名山から世界最難のワイドクラックへ」
- ◆ 2 日目企画(希望者のみ)
 - ① 北平友哉講師“セカキタ”ワイドクラック体験会
 - ② 篠塚優さんと登る瑞牆山パノラマコース
- ◆ 対象: 50 歳以下のハイカー、クライマー



■ 全国ハイキング交流集会

10月5日(土)～6日(日)

- ◆ 会場: 静岡県・伊豆長岡温泉
いづみ荘旅館
- ◆ 記念講演: 野尻英一氏(気象予報士)
「いまさら聞けない天気常識とネットで分かる気象」
- ◆ 交流ハイキング(葛城山、大仁城山、歴史ハイク)



労山基金 2024年6月 交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等※	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	京都	70代女性 2口	2023/06/04 13時00分頃	近畿地方 万灯呂山 (大峰) 林道	無雪期登山	転倒	全国グリーンハイクの日。万灯呂山(大峰)を目指して林道を歩いている際、苔の生えた場所で溝にあった空缶を拾おうとして滑って転倒。	右開放性橈骨遠位端骨折
2	東京	50代男性 7口	2023/06/17 06時00分頃	谷川連峰 谷川岳 一ノ倉沢立岩中央 稜	登攀	転・滑落	登攀中、掴んだ30cm大のフレーク状の石が抜け、仰向けの姿勢で墜落。右足を強打。セルフレスキューにより中央稜基部まで下降し、パーティー内で応急処置、救助要請。ヘリでピックアップ後救急車で病院。傷の状態を見てコンパートメント症候群防止のため緊急手術。	右脛骨天蓋部骨折・右腓骨開放骨折・それに伴うコンパートメント症候群(受傷部位-右足首)
3	東京	70代女性 5口	2023/06/09 12時00分頃	阿蘇・九重山系 久住山の下山道	無雪期登山	転倒	石ころで右足が滑り左側に転倒。その際5cm大の石が左手首を強く圧迫し手首を痛めた(右手にツツキ・左手にツツきなし)。すぐに起き上がれず同行者と地元登山者に助けられ、その場で応急処置(新聞で当て木)テーピング・三角巾で固定。自力で牧ノ戸峠に下山。空港から救急車でリハビリテーションに搬送。	左橈骨遠位端骨折
4	東京	30代男性 10口	2023/06/17 11時30分頃	北ア後立山連峰 針ノ木岳山頂直下	積雪期登山	転・滑落	針ノ木岳から針ノ木峠に向かう途中、雪を踏み抜いた際にバランスを崩して転倒し、5〜10m 滑落。その後自力で下山。	左足関節内果骨折
5	京都	60代女性 5口	2023/06/24 09時00分頃	近畿地方 金毘羅山 Y 縣尾根第2テラス2 つ目岩場	訓練	転・滑落	2.5mほどの岩場。1回目無事上がって2回目上がる時、一番上に右手をかけ、右足を移動させようとした際に滑落。1.5m〜1.7m地点からまっすぐに土の上まで落下し、立位で着地。落下時にザックを支えてもらったので後方への転倒は防げた。	左踵骨骨折
6	東京	70代男性 5口	2023/07/26 11時55分頃	南ア 北岳 白根御池小屋から40 分ほど下った第二ベ ンチ回り(標高 2059)	無雪期登山	転倒	北岳から白根御池小屋経由で約40分下山した第二ベンチあたりの岩稜帯の下りのザレ場で足を取られ滑った。その時左足の踵上部を捻挫したと感じ、持参の足首用伸縮バンドで固定、ストックを使用し自力で広河原に下山した。	左足首関節の外果骨折
7	神奈川	60代男性 5口	2023/07/030 05時30分頃	ハケ岳連峰 権現岳 北面赤梯子下降部付 近	無雪期登山	転倒	赤梯子下降付近で足を滑らし尻もち	左脛骨骨幹部骨折、左腓骨近位端骨折
8	愛知	20代女性 5口	2023/07/16 15時30分頃	南ア 北岳 白根御池小屋から広 河原登山口までの下 り登山道	無雪期登山	転倒	下りの登山道で段差のある個所を降りる際に、左親指をついてひねった。すぐその場で包帯等にて応急処置をして下山。岩を乗り越えようとし、身体のバランスを崩して後方へ転倒。	左母指骨折
9	埼玉	40代女性 3口	2023/08/06 13時20分頃	北海道 利尻山 篤泊コース下山中の 9合目から避難小屋 に向かう途中	無雪期登山	転倒	下山中の9合目から避難小屋に向かう途中で、足を滑らせて尻もちをついた際に、右手も突いたところ、ピキッと音がして手首に強い痛みを感じた。応急処置としてテーピングをして下山。救急病院でレントゲンにより骨折していることが判明し、ギブス等の処置。全治1か月の見込み。	右手首橈骨遠位端骨折
10	兵庫	60代男性 5口	2023/08/19 07時45分頃	近畿地方 高御位山 成井参道(階段)を ほぼ下りた所	無雪期登山	階段で尻 もちをつ いた	長尾登山口から高御位山頂を経由して成井登山口に向けて下山。参道をほぼ下りた所(成井登山口近く)の階段でしりもちをついた際に、左足首がねじれピキッと音がした。	左足関節外果骨折
11	奈良	50代女性 5口	2023/12/09 12時30分頃	鈴鹿山系 鬼ヶ牙 南面のクイミングル ート	登攀	転・滑落	鬼ヶ牙のマルチピッチ登攀において、4ピッチ目をリードし、2ピン目クリップ後、1mほど登ったところで滑落し、1ピン下の緩い傾斜のテラスに右足から落ち、足首を骨折した。	右足首距骨骨折
12	香川	50代男性 3口	2023/11/26 09時30分頃	四国 五色台 紅ノ峰クイミング	登攀	転・滑落	クライミングゲレンデにて、ルート終了点でトップロープ用の支点構築時に誤って2m程下のテラスに滑落した。そのタイミングで右足の足首の関節を骨折した。	右足首脛骨天蓋骨折
13	兵庫	50代男性 10口	2023/11/04 14時30分頃	九州 雌針岳 大長征ルート	登攀	転・滑落	雌針岳大長征ルート中央バンドのトラバースを終え、大滝左ルートに入った1ピッチ目をリード中に、核心部の3ピン目で足を滑らせてフォールした。足元のテラスに着地した際に左足首を痛めた。	左足首骨折
14	兵庫	70代男性 10口	2023/12/23 13時15分頃	六甲 奥高座谷 滝の巻き道	無雪期登山	転・滑落	滝の巻き道を通過するためメンバーのサポートした後、前を歩くメンバーの一人が足を踏み外して落ちるのを見て、慌てて手を差し伸べて止めようと前に出たところ、空中に飛び出して10mほど崖下に落ちた。	左足創傷、仙骨骨折、肋骨骨折、膝・臀部の打撲
15	京都	70代女性 5口	2024/01/14 15時00分頃	近畿地方 比叡山山頂	無雪期登山	転倒	修学院道に向かう途中段差につまずき転倒、左小指をつき爪の下から出血してなかなか止まらず。日曜日の為翌日受診する。	左小指第2関節骨折・創部感染・骨髄炎疑い
16	東京	60代男性 10口	2024/01/28 15時00分頃	北ア 乗鞍岳 Mt.乗鞍メーリング トへ向け下山中	氷瀑	踏み抜き	下山開始後30分くらい歩いた所で、右足を踏み抜き左足を内側に捻り靱帯を損傷した。	左足内側側副靱帯損傷
17	神奈川	50代男性 10口	2024/03/30 16時30分頃	秩父 小鹿野町 二子山	登攀	転・滑落	ポルトルートをクライミング中、ポルト4本目でバランスを崩しフォール。ポルト3本目のクイック・ドロウにかけたロープで落下は止まったが、岩壁に左膝を強くぶつけた。深い切り傷が自力で歩行可能。下山後、痛みと腫れがひどくなり左足を曲げられない状態。	左脚大腿四頭筋挫傷
18	兵庫	70代女性 3口	2024/03/17 10時00分頃	大阪府豊能町 青貝山	無雪期登山	転倒	駅を出発後、青貝山登山口付近の道路凹みでつまづいて転倒。出血が多かったので止血等の応急措置を行った上で、会員が付き添って駅に戻る。帰宅後に救急外来病院を受診。翌日も自宅近くの皮膚科を受診。	左足膝下挫創
19	大阪	60代女性 5口	2024/03/31 12時00分頃	中国地方 扇の山北部	無雪期登山	転倒	扇の山から下山時にわかんを使用。わかんがずれて自分のわかんを踏んで転倒した。その時、ザックの重みで前に倒れ、ストックのグリップで胸を強打した。(登山学校時)	胸打撲後 両側胸水少量貯留
20	東京	50代男性 10口	2024/04/26 06時15分頃	北ア 西穂高岳西面 西穂沢 標高2130m 地点	山スキー	落石(落水)	稜線の天狗岩付近より巨大な岩塊が崩落、落下、百個以上に割れるのを目視。腹這いで伏せて顔を上げないよう努める。目視から30秒ほど後に、小型冷蔵庫大の岩が多数、頭上、左右を高速で通過。小さめの1個がヘルメットを直撃、もう1個がザックに固定していたスキーに当たる。事故後は速やかに下山。	軽度の頸椎捻挫
21	神奈川	40代女性 5口	2024/05/04 14時00分頃	九州 大崩山 祝子川 30cmJリッジ	沢登り	転・滑落	ロープ確保するが中間支点がとれない状況にて、4m程の高さの滝をフォロー登攀中に滑落し、滝の落口に飲まれ身動き取れない状況となる。同行者がピレイを解除し滑落者を流し、その先にある釜に入る。心肺蘇生するも変化なし。救助要請しヘリ救助されたが死亡が確認された。	死亡
22	兵庫	50代男性 10口	2024/04/29 12時00分頃	知床・阿寒 羅臼岳 岩尾別ルート	積雪期登山	雪の踏み 抜き	10:10頃に羅臼岳登頂。下山中、12時頃、極楽平付近にて右足で雪を踏み抜いてバランスを崩し、左足アイゼンの前爪が右足のふくらはぎを刺した。下山後、ふくらはぎに穴が開いていることに気付き、傷パワーマットで応急処置。病院で感染症対応処置。	右足ふくらはぎ切創

※口数等：(団=団体口数、(個=個人口数、表記がないものはすべて個人登録のみ

■石川県連 能登半島地震「山岳団体の特色を活かした復旧ボランティア」募集の依頼

下記の通り能登半島地震復旧ボランティアを募集します。各会におきましては会内への周知と参加者募集をお願い致します。

【背景】 発災から半年以上が経過しましたが、一時避難場から帰還出来ない被災者が多数あります。要因として仮設住宅の不足と共に、自宅の仮復旧が進んでいない現状があります。早急に雨漏りや周囲の危険を補修し、自宅へ戻れるようにする事が復興を進める事に繋がります。一方、一般ボランティアすら減少しており、より高度な住居復旧作業には手が回っていません。そこで、山岳団体としての特色を活かしたボランティア活動を実施します。

【作業内容】

① クライミング技術を活かした屋根作業

- ・作業内容:棟瓦を境に双方で又は屋根中央に張った親綱を支点にして、不良瓦の撤去、ブルーシート貼
- ・対象者:個人又は会所有のハーネスの装着、8字結び、ブルージック結びを自己で行える方
- ・作業場所:志賀町富来の各地

② 狭小傾斜地での作業

- ・作業内容:狭小急斜面での土砂運搬、崩壊防止の大型セメント袋設置、撤去する土砂を土嚢袋に詰めて運搬、セメント袋に詰めて崩落を防止します

- ・対象者:一般的な体力があり、斜面での作業が可能の方。※危険が予測される時は上部の立ち木から確保を取ります

- ・作業場所:志賀町地保地区

【実施日】

8月3日(土)、10日(土)、17日(土)、31日(土)

【集合場所】 道の駅とぎ海街道 8:30

石川県羽咋郡志賀町富来領家 2-11

<https://togi-michinoeki.com/>



※トイレあり、コンビニ隣接、入浴施設隣接

※交通費は乗り合わせたメンバーで清算して下さい

【持ち物】 必須:作業ができる服装、ヘルメット、飲料、昼食、行動食。①作業希望者:ハーネス、スリング、カラビナ、ロープ(持っている方)

【申し込み】

- ・申込先:石川県勤労者山岳連盟 理事 北市正

メール:nagato1931@yahoo.co.jp

- ・締め切り:各実施日の3日前まで

※申込者には別途案内しますが、下記を実施して頂きます。①ボランティア主催団体(RAT's NEST)への活動参加登録。②各会毎の参加者名簿(緊急連絡先の記載されたもの)。③ボランティア保険への加入。

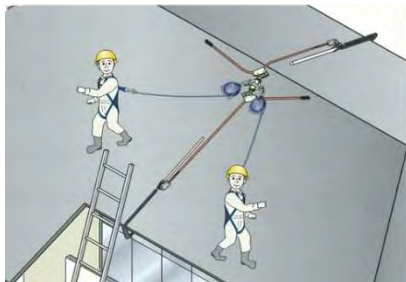
※社会福祉協議会の保険は技術ボランティア活動には適用されません

※作業詳細 ①クライミング技術を活かした屋根作業

棟瓦を境に双方で確保を取って作業

親綱で確保を取って作業

ブルーシート貼り付け作業



※作業詳細 ②狭小傾斜地での作業



住居裏の崩壊土砂を搬出運搬(土嚢袋に入れてバケツリレー)。セメント袋に入れて積み上げて崩壊防止

